

5/7

子どもたちのためにスポーツ振興を 洞爺湖町ミニバレー協会が寄付

洞 爺湖町ミニバレー協会（北島良人会長）が、教育委員会に現金を寄付しました。新型コロナウイルス感染症の影響で子どもたちの学びの機会が失われている中、「子どもたちのためにスポーツ振興を進めよう」と今回の寄付を決意。

北島会長は「子どもは大変な思いをしています。学びを止めないことが大事」と語り、皆見教育長に善意を手渡しました。皆見教育長は「スポーツ振興に役立てます」と話しました。



皆見教育長（左）に寄付金を手渡す北島良人会長（右）

5/7

自然の中を元気に歩こう 「春を楽しむ会」開催

新 緑の中を散策する「いきいき教室春を楽しむ会」が、月浦自然森林公園で行われました。ウグイスなど野鳥のさえずりを聴きながら歩を進めた参加者は、草花を見つけるとポケット図鑑で名前を確認。コゴミやニリンソウなど食べられる山菜だと分かると料理の話に花を咲かせました。

小川沿いの道にはエゾノリュウキンカの小さな黄色い花が咲いていて、参加者は「かわいいね」と笑顔を見せていました。



森の中を散策する参加者

5/21

人気の足湯を美しく 「洞龍の湯」を整備

観 光客に気分良く温泉を楽しむでもらおうと、洞爺湖温泉利用協同組合、洞爺湖温泉観光協会、町観光振興課が、観光客に人気の足湯「洞龍の湯」を整備しました。2年に1度行っており、今回は足湯に浸かるために使うベンチなどのペンキを塗り直しました。

参加者は、コロナ禍が収束したら洞爺湖を訪れる人たちがまた町がにぎわうようにと願いを込めながら、作業に汗を流していました。



洞龍の湯を整備する参加者

5/20

郵政創業 150 年を迎えて 町内 2 郵便局が記念品を寄贈

日 本郵政グループが1871年（明治4年）の創業から150年を迎えたことを記念し、虻田、洞爺の2郵便局が、町に記念品を寄贈しました。

贈られた記念品は、明治時代から現代まで実際に使われたさまざまなポストをデザインした切手セットなど。

虻田郵便局尾形光平局長、堀憲博副部長、洞爺郵便局肥吾信吾局長が真屋町長に記念品を手渡し「今後も町民のために仕事を続けます」と話しました。



真屋町長（左）に記念品を寄贈する尾形光平局長